

1. 科目名 (単位数)	福祉心理学 (2 単位)	3. 科目番号	PSMP3334
2. 授業担当教員	若松 直樹		
4. 授業形態	講義、演習	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・ 他科目との関係	特にありません。		
7. 講義概要	福祉では、支援を必要とする人々を対象として支援を行う。かつては児童が中心であったが、青年期、中年期、高齢期と生涯発達の見解の中で、その援助が考えられるようになった。福祉現場で生じる問題及びその背景、福祉現場での心理社会的課題及び必要な支援方法、特に、虐待、認知症に関する必要な支援方法について学ぶ。		
8. 学習目標	生涯発達の中で、どのような問題が発生するか、その問題は発達とともにどのように変化してゆくか、それに対応した福祉現場における心理的支援について説明できるようになることを目指す。		
9. アサイメント (宿題) 及びレポ ート課題	○評価のもとになるレポート課題 授業で紹介する福祉領域における心理的支援のなかで、問題意識をもつ対象(事柄)に対する公認心理師の役割を、あなた自身の言葉でまとめなさい。 ○レポートの執筆量や提出期限などはおって示します。		
10. 教科書・参考書・ 教材	【教科書】中島健一編『福祉心理学』遠見書房 2、600 円		
11. 成績評価の規準 と評定の方法	○成績評価の規準 ①福祉心理支援職の対象となる各分野における福祉現場における心理的支援について理解し、説明することができる。 ②福祉・介護分野における多職種協働と心理職の位置づけを理解し、説明できる。 ○評定の方法 学則で定められた単位取得の条件(3/4 以上の出席)を満たしていることを前提として、授業態度と参加姿勢 20%、試験 40%、課題レポート 40%で判断する。		
12. 受講生への メッセージ	公認心理師による心理支援の実際は、チーム(多職種)による支援の一環として行われます。 多職種による支援の要点を共有しつつ、公認心理師ならではの支援を提供することも求められます。 福祉領域において、心理学や心理士は何ができるのかを意識しながら学んでください。		
13. オフィスアワー	初回の講義でお知らせします。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	社会福祉の展開と心理支援	事前学習	教科書の事前確認から問題意識を創出する。
		事後学習	関心事項の情報を追加検索する。
第 2 回	総論：生活を支える心理支援	事前学習	教科書の事前確認から問題意識を創出する。
		事後学習	関心事項の情報を追加検索する。
第 3 回	暴力被害者への心理支援	事前学習	教科書の事前確認から問題意識を創出する。
		事後学習	関心事項の情報を追加検索する。
第 4 回	高齢者へ心理支援	事前学習	教科書の事前確認から問題意識を創出する。
		事後学習	関心事項の情報を追加検索する。
第 5 回	障害・疾病のある人への心理支援	事前学習	教科書の事前確認から問題意識を創出する。
		事後学習	関心事項の情報を追加検索する。
第 6 回	生活困窮・貧困者への心理支援	事前学習	教科書の事前確認から問題意識を創出する。
		事後学習	関心事項の情報を追加検索する。
第 7 回	児童虐待への心理支援の実際	事前学習	教科書の事前確認から問題意識を創出する。
		事後学習	関心事項の情報を追加検索する。
第 8 回	子どもと親への心理支援の実際	事前学習	教科書の事前確認から問題意識を創出する。
		事後学習	関心事項の情報を追加検索する。
第 9 回	認知症高齢者への心理支援の実際	事前学習	教科書の事前確認から問題意識を創出する。
		事後学習	関心事項の情報を追加検索する。
第 10 回	ひきこもり・自殺予防の心理支援の実際	事前学習	教科書の事前確認から問題意識を創出する。
		事後学習	関心事項の情報を追加検索する。
第 11 回	精神障害者への心理支援の実際	事前学習	教科書の事前確認から問題意識を創出する。
		事後学習	関心事項の情報を追加検索する。
第 12 回	家族・職員への心理支援の実際	事前学習	教科書の事前確認から問題意識を創出する。
		事後学習	関心事項の情報を追加検索する。
第 13 回	福祉・介護分野での多職種共働(IPW)と心理 職の位置づけ	事前学習	教科書の事前確認から問題意識を創出する。
		事後学習	関心事項の情報を追加検索する。
第 14 回	IPW 実践事例報告	事前学習	教科書の事前確認から問題意識を創出する。

		事後学習	関心事項の情報を追加検索する。
第15回	全体のまとめ	事前学習	教科書の事前確認から問題意識を創出する。
		事後学習	関心事項の情報を追加検索する。